

第2回あいの風とやま鉄道富山駅高架下開発検討委員会

日時：平成28年12月13日（火）15:30～17:00

場所：富山県民会館611号室

○知事挨拶

（石井知事） 皆さん、こんにちは。今年も残すところ半月余りとなりましたが、第2回のあいの風とやま鉄道富山駅高架下開発検討委員会を開催しましたところ、西村座長さんをはじめ各委員、アドバイザーの皆さま、お忙しい中ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

新幹線開業から1年9カ月ほどたちましたが、今でも開業前の2.9倍、2.8倍といった方々がこの新幹線を愛用していただいております。また、富山駅界隈も以前と比べますと、観光客、ビジネス客が随分増えたなというように実感いたしております。また、諸事情で連続立体交差事業がまだ工事途中ですが、駅前広場も順次整備していただき、「さかな屋撰鮮」、CiCビルの「ととやま」、桜町一丁目の市街地の再開発、新たな商業施設が相次いで整備され、あるいは、整備中ということで、随分変わってきたなと思っております。この委員会ではこうした諸状況も踏まえて、あいの風とやま鉄道の富山駅の高架下開発の方向性を取りまとめていただくということで設置したものです。前回8月末にいろいろと皆さんからご意見を賜りました。その際には駅利用者のニーズ調査の調査結果などもご披露申し上げてご意見を頂いたところです。その概要は後ほど資料としてお出ししたいと思います。また、先ほど委員、アドバイザーの皆さまにおかれましては、富山駅構内、新幹線高架下の現状について、あらためて現地視察などもしていただいたということです。

今日の第2回の委員会では、西村座長からご提案がございました富山駅の空間的な特徴や課題に加えまして、商業施設へのヒアリング結果などにつきましてご説明をさせていただき、また、アドバイザーを務めていただいているJR東日本さんからも、地方の産品を扱う、「のもの」というのが立派な先行事例になっていますので、これのご披露も頂きたいと思っております。

ぜひ皆さまにはそれぞれ忌憚のないご意見、また、大所高所からのご意見よろしく願いたいと思います。

○座長挨拶

（座長） 先ほど大方の委員の方々には1時間ほどかけて駅の高架下を見学していただきまして、皆さん普段使われていることとは思いますが、あらためて説明を受けながら見学すると、随分違う見方もできたのではないかと思います。そこも含めて今日は忌憚のないご意見を頂ければと思います。

○議事

< 資料1～4及び6 事務局より説明（略） >

< 資料5 地産品ショップ「のもの」 についてJR東日本よりご説明（略） >

< 資料7 「検討にあたっての論点」 について座長より説明>

（座長） 最後に資料7です。これに関しては、前回の検討委員会では割合、駅全体のコメントが多かったです。全員の方にご発言いただきましたが、駅が分かりにくいなどのコメントが多かったのですが、2回目なので、これ以降はもう少し実際の具体的なスペース、資料2-1の、西部エリア、東部エリア、東西自由通路エリアの3カ所に少し議論を集約させていきたいということで作ったメモです。まず西部エリアに関しては、今日も見ていただきましたが、近くにクラルテという施設があって、主に地元の方に使われているということで、これとの関係で西部エリアをどう考えるか。それから、東西自由通路エリアは形が細長いわけですが、すごく人目に付くということで、ここをどのように考えるか。そして、東部エリアは面積が大きいのですが、少し奥まっているということ。そして、とやマルシェとつながっているのも、その関係を考えて何がいいだろうかということを考えていただきたいと思います。それと、3つをつないでいるのが東西自由通路なので、ここをどのように考えて、うまくつなぐような工夫ができるのか。具体的には開発エリアから外れる、市の管理するところですが、ここが1つのキーになるのではないかとということで、そこに関するアイデアや提言などを頂きたいと思っています。

○意見交換

（委員） まず開発予定者としての意見という形になってしまうかもしれませんが、西部エリアについては、人の動線、市電のお客さんがよく来るということ、それから、クラルテとの関係性を踏まえると、地元客の利用をターゲットとした施設が適当なのではないかと思っております。なるべくクラルテと競合しない範囲内で、例を挙げていけば、例えば、本屋、ファーストフード、カフェなどが考えられるかなという考えでおります。

東西自由通路エリアは、大変利用客の往来の多いところがございますので、収益性の高い施設を設置するのが普通だろうと思います。この際、地元客、観光客ともに需要があるということで、収益が上がるものとするならば、例えば、コンビニということもあります。もう1つは観光関連施設ということもあると思います。ただ、いずれにしても利便性に応じた賃料を納めていただくことが必要になってくる。これが開発予定者としての意見が強い面です。

それから、もう1つ、とやマルシェとの関係で東部エリアです。ここは確かに観光客の利用が多いと思いますが、地元客の利用も相当あるのではないかと思います。そう考えるなら、例えば、新鮮な魚などが食べられる飲食街のようなものを中心としつつ物販なども考えていく必要があると思います。この際、東西自由通路を挟んで、とやマルシェが向

かい合っているので、東西自由通路も取り込んだ形でとやマルシェさんと協調して検討していくことが大事ではないかと思っています。

それと、東西自由通路の動線関係です。確かに東西自由通路については、天井が低いという課題がありまして、暗いイメージにならないようにしていかなければいけないということで、利用者を誘導するためにも明るい照明、壁を考えなければいけない。それから、先ほど言った東西自由通路エリアに設置するような施設については、賑わいがある目立つ施設が好ましいのかなと思っています。

(委員) 私は専門が観光振興なので、その観点から少し気付いたことをお話しさせていただきます。

確かに柱があったり、細長くて暗かったり、天井が低かったり、いろいろな空間的な制約はあると思いますが、根本的に観光客の立場からしますと、駅にそんなに長居はしません。一方で、駅自体が観光の魅力対象になるところは世界にあちこちありますが、特に富山駅がそうなるわけではないのかなと私は考えております。ですので、富山市に観光にいらっしゃる遠方からのお客さま、最近では訪日外国人のお客さまから見て、この駅がどう使いやすいのかということでお話しします。

結論からいくと、私は飲食が少ないと思いました。物販に関しては、とやマルシェあたりに、非常にセンスのいい置き方もしていますし、非常にハイレベルなアイデアが入っていると思いますが、電車を待っている間、あるいは、お昼に着いて、お腹が空いて何かを食べよう、土地のものを食べようとしたときに、ラーメン屋さん、居酒屋さん、お寿司屋さんがありますが、フードコートは全然ニュアンスは違いますが、やはり観光施設の中ではまとまってご飯が食べられるところはどうしても必要です。そういうことによって、特に富山の場合はそれ自体が魅力になるということが大いにあり得ると思います。ですので、おそらく東部エリアあたりがその対象になってくるのではないかと思います。西部エリアですと、面積が730m²というお話でしたから、少し物足りない気がします。ですので、特に東部エリアを中心に、今ある、とやマルシェとの連携性は大変大事ですので、ここはもう少し工夫していただいて、ここに来れば湯気が立っていていろいろな匂いがして、食べられるという空間が、特に富山駅の中、それから、駅の周りでもそんなところがあまりないと思いますので、ここにあると大変お客さまに良い印象で、新幹線に乗って帰ってもらえるような気がいたします。

(委員) 先ほど改めてゆっくり見させていただいて、東部エリア、西部エリアをどうリンクさせるかが難しいということを確認しましたが、人の動線、人の流れをどうつくっていくのかを見た場合、「西部エリアとクラルテのゾーン」、「南北自由通路のゾーン」と「東部エリアととやマルシェのゾーン」は、動線1つに流れるような南北の交流性、とやマルシェと東部エリアで客が交流できるような回遊性を持たせるゾーンと考えると、南北に大きく3つの動線ができると思います。東西自由通路エリアに3つのゾーンの連結機能に当たる機能を持たせるべきではないかと思っています。

先ほど西部エリアは地元客に絞った方がいいという意見もございましたが、ターゲットとの関係で言えば、西部はライトレールの南北接続により、地元の客がもっと利用するよ

うになるので、西部エリアにおいては、日常的な買い物ができるような品ぞろえを訴えた店、面積は狭いのですが、ミニスーパー的な機能を持った施設があればいいのではないかと思います。東部エリアは日用雑貨、土産物など、とやマルシェとの一体化を考える必要から、先ほどもご意見がございましたが、飲食、体験コーナー、加工など、少し時間をつぶせて、食事等が楽しめるゾーンという形で富山らしさを出してはどうかと思います。

とやマルシェと東部エリアの交流性を高める動線をどのように工夫するかということになると、とやマルシェの店舗の配置換えなどができるか分かりませんが、店舗配置も考え直す。とやマルシェは既存の施設ですので、経費との絡みもあり、なかなか難しいと思いますが、東部エリアの飲食ゾーン、加工ゾーン、体験ゾーンなどとの連携、人の交流を考えると、再配置した方がいいのではないかと考えております。東西自由通路エリアをどうしたらいいかは、まだ具体的なアイデアがなく、今後、考えさせていただきたいと思えます。

(委員) 私は外からの考え方を申し上げたいのですが、あいの風鉄道を使わせていただいているので、外と内ということで整理したいと思えます。

まず駅として必要な要素が4つあると感じています。前回から「富山らしさ」という言葉も出ていますが、駅となると品格、格付けが非常に重要で、第1印象がこれからのファンになっていく上でも大事なので、この地域がどれくらい受け入れられるかという印象をどのように伝えるかということも1つあると思えます。

それから、何と言っても明確で分かりやすさ。自分が降り立ってどの方向にいるのか、次にどちらに行ったらいいかという不安感を抱かせないようにする。まず着いて安心するという方角の認識、それから、個別の案内、乗り換え、そういう明確さが必要かと思えます。

次は視認性。地元の方の利用度が非常に高いので、通行する人のためのものではなくて、駅で待ち合わせしたり、時間をつぶしたりするという感覚の親しみやすさ。特に高校生などが駅で長い時間過ごしているという風景が、どの駅を見ても賑わいになっているので、カフェに入らなくても、どこか憩うことのできるような視認性が必要かと思えます。

それから、素晴らしい駅の特徴である、縦筋と横筋、新幹線から降りてきて電車が見えるというのは、何回見ても感動するのですが、ここで大事なのは、安心・安全です。それから踏切の処理があります。これは最大の魅力でもあるので、踏切そのものを目玉にして、演出上、西部エリア、東部エリアのすみ分けに使ったらどうかと思えます。

品格と明確、視認性、安心・安全ということと言うと、サインについては、今、東京に来るインバウンドで唯一覚えてくれるのは新宿駅のコンコースで、何番ホームという番号が2m四角ぐらいの数字で目線のところに書いてあるのです。ですから、ほとんど迷わない。他のものは見えないのだけれど、番号は見える。これは空港のAブロック、Bブロック、Cブロックの表示のようなもので、遠くからでも見えるので、看板の規制があってもメリハリを付けて、方向は、はっきり東、西ということを含めて、もっと大きく書くべきではないかと思えます。

それから、今、温泉マークが議論されていますが、ピクトグラムも一般化されてきていますので、こういうものもうまく使う。条例で制約はあるものの、もう少し使い分けをし

てもいいのではないかと思います。

それから、床面での誘導シートの色分けは非常に重要だと思います。特にあいの風の方
向に行く、あるいは、とやマルシェに行くということを、降り立った人が自然に色分けて
誘導されていく形にしていってはどうかということは、さらに感じました。

イメージですが、西部エリアは地元の方が使いやすいという視認性。先ほど申し上げた
親しみやすさ。どちらかという、築地の場外のようなフードコート式と言いますが、少
しざわざわとしながらも、短時間だけれど人が入れ替わって利用頻度が高い、例えば、夕
方は店で食べるだけではなくて、お総菜も売っているようなものがあった方がいいのでは
ないかと思いました。

それから、先ほどの踏切ですが、東京で唯一残った都電も、チンチン電車の音を次の時
代に残したいところもありますので、踏切の演出はもう少し踏み込んで、音楽の一つの活
用のように考えたらどうかなと感じました。

非常に長い東西自由通路なので、実現性は別として大胆な意見を申し上げると、買い物
はしないけれど、東西自由通路を利用してもらえるようなことを考えるならば、立山連峰
がずっと続いていて、駅に来た人は必ず通るという大胆なデザインをされたらどうでしょ
うかということ、今日歩いて感じました。どちらから来るにしても、最後は達成感があ
って縦走したような感覚になる。私はつい先週、新千歳の空港に行ったのですが、向かい
にチョコレート工場があるのです。ですから、もっと大胆に言えば、全体がかまぼこ工場
になっていたら面白いなと思いました。

買うだけではなくて、ちょっと体験できて、富山を知っていただけるような、ミュージ
アムの空間であり、かつ、買い物空間ができないかという期待感を持ちました。

(委員) 週に2、3回富山駅を利用しますが、東部エリアの奥まったところは全然見たこ
とがなく、今回視察をして、暗いし、奥まっているから、この部分が「とやマルシェ」の
真向かいということで、変わったら随分いいかなと思いました。私は、最近南口しか利
用しませんので、私のような富山の人間でさえも、広々としたところなので、観光案内も
含めて、どこで聞いたらいいいのか分からない。結構面倒くさがりやだから、何でも聞いて
しまうのですが、そのときに、どこでどんなことを教えてくれるのか。観光案内も総合案
内も、明るく、ぱっと目に付くところで、結構広いスペースで取ってもらえたらいいの
ではないかなと感じました。

その上で、先ほどおっしゃったようなことに発展しますが、何しろ表示があまりにも小
さいし分からない。私のように頻繁に来ている人間でさえ分からないのだから、たまに
来た人なんか全然分からないのではないかなと思うのです。だから、駅そのものの基本
的なものが分からない。それで多目的デッキを造って格好ばかりつけているけれど、
あれは意味があるのか、ないのか。螺旋階段で上がって、お年寄りなどはふらふらする
のではないかなと思うほどです。先ほどエレベーターに乗ったのですが、あんな透明な
エレベーター、怖くて、本当にこれはエレベーターなのかなと思いました。デザイン
重視も大事ですが、それよりも、これから高齢者は増える。小さな子どもたちを
連れていくにしても、先ほどから言われる通路が、海外の空港のように見れば、「
見える化」ということで、この色のところを歩いていけば目的のところ
に達するというように、サインの重要性を最初に考えて

もらいたいと思います。

(委員) 今、言われましたが、先ほど螺旋状の階段を上ったけれど、高齢だと、とてもではないけれど、あれは大変かなと思いました。それから、降りるときに、エレベーターにりましたが、周り中ガラス張りですので、怖い感じがしました。前だけ空いているのならいいけれど、両側は暗くてもいいような感じがしました。ああいう素晴らしいことのできるのでしょうか、現実に乗ってみたときに、ここは暗い方が安心して乗れるなと思いました。

それから、いろいろなお店があればいいかなと思いました。東京駅の大丸さんの地下に、何年か前にお総菜屋さんやお弁当屋さんをたくさん作られましたね。10時の開店になると、お年寄りが、お弁当や食べ物をたくさん買いにいらっしゃるのです。お昼になるとビジネスマンがたくさん買いにいらっしゃる。だから、観光客や用事でいらっしゃった人たちが利用するのではなくて、地元のお年寄りの人たちが買い物に利用することを初めて知りました。だから、ああいうこともやれば商売になるのかなと思います。もし、ああいうものを作られるのだったら、地元の人たちも結構利用されるのではないかと思います。

それから、昔、駅前に、金沢の近江町市場のようなものがありました。富山駅に降りられときに、富山県じゅうのものがあるというところがあれば。そんなきれいなところでもなくてもいいと思いますし、近江町市場のようなもので、あっちへ行ったり、こっちへ行ったりしないで、一列でいいので、両側に氷見のもの、山のもの、果物など富山の四季のものが置いてあり、簡単なもので、観光客も地元の人も行けるように。私は富山市の者ではないのですが、あれがとても懐かしくて、特産品のようなものを置いて、地元の人でも観光客の人でも、富山へ来れば、こういう時季にこういうおいしいものがあるのだということをおもっていただければ、その時季になればいろいろな人たちが来てくれるのではないかと思います。

(アドバイザー) 今回、駅の工事中の施設も含めて見せていただいて、5点ほど感想を申し上げたいと思います。

全体的には、駅のコンセプト、先ほど、まさに駅は品格だとおっしゃられたのは、そのとおりだと思います。富山駅に来れば、丸ごと富山を体験できるようなコンセプトをぜひ作っていただければと思っております。

先ほど2人の委員から買い物というお話もございましたが、私たちがやってきた公共交通の方でも、例えば市内に隣接しているところでも、藤の木校下、新庄校下などのエリアの方々は、今はスーパーマーケットがみんななくなっていて、お年寄りは買い物に行けないというのです。それで、何とかそちらの方にも循環バスをと。市内についてはワンコインで回れるのですが、郊外の方へ行くと、なかなかそうはいかなくて、バスもなかなか利用できない。今、郊外のお年寄りの方々はタクシーでスーパーへ行き、待たせておいて買い物をしている。大変な思いをされていることをよく聞きますので、駅に来れば、まさに皆様方からお話のありました、西部エリアで、日常生活のものが対応できるようなことをぜひ進めていただければと思っております。そうすれば、毎日の食卓は西部エリアで調達できるということだと思います。

先ほど、ライトレールが南北接続すると踏切ができるというお話を聞きました。踏切になると観光客は基本的には渡りません。ライトレールも頻繁に走りますので、踏切で遮断されている時間帯は長いと思います。ですから、ここはすみ分けをきちんとやって、東側と西側を分けざるを得ないと、私は今日見せてもらって感じました。結局、どうしたらいいかということですが、東西自由通路エリアは、幅もなく、スペース的にも200m²で、新幹線を降りて中央改札口を出た人は、目の前に何も無い。看板も、右の方の柱の陰になって見づらいというのは、そのとおりのことです。あいの風とやま鉄道の高架が上がれば、南北自由通路は相当見晴らしが良くなると思うのです。そこの真ん中辺りに、土日だけでもいいですから、消防法上の問題があればクリアしなければならないと思うのですが、できれば中央改札口を出たところに、仮設の観光案内を設けて、すぐ目の前で案内をしていただければ。先ほど委員の方からお話がありましたように、下のタイルを色分けするのもすごく大事です。JR 東日本さんは、駅ナカは徹底的に明るいタイルを使って、足元を照らしていて、高齢者にも優しい色合いと照明を、駅ナカと駅ナカへ通じる通路の方で行われていて、非常に分かりやすいです。今、新幹線の改札口を出たところの品格はいいのですが、その先の通路部分が暗いというご指摘がありました。これが全部できれば相当明るくなると思いますので、徹底的に明るくしていただく。東西自由通路は「お祭り通り」として、東部エリアにお客さんを誘導する。お祭りを見ながら、上には先ほどおっしゃったように立山連峰の絵を掲げ、絵をずっと見ながら、東部エリアに入れるようにする。どちらからもというお話がありました。道路側から行ってもいいし、駅の中央コンコースの方から行ってもいいし、何とか東部エリアに、富山を体験しながら入る。達成感というお話もありましたが、そのとおりでいいと思います。来てよかった。ここは分かりづらかったけれど、立山連峰を見ながら、自然と東部エリアに入れる。

3 点目。東部エリアでメインは何か。富山を丸ごと体験できるということで、富山の売りは、立山連峰とおわら風の盆です。私は、おわら風の盆で、高校生の踊る姿を何度も見ていますが、感動します。土日は高校とタイアップして発表の場ができればいいのですが、普段はボランティアで披露してくれるような数人の方でもいいのですが、音楽を聞くだけでも私たちは癒されます。そしてまた、踊り手がいれば大変感動すると思います。駅に来れば、おわらも体験できる。これを東部エリアのステージで、どこか見えるところに。そして、富山の食、文化、歴史、自然を東部エリアに行く間で体験できるような、屋台とお祭り広場を通りながらここに誘導できるようなことをやっていただければ大変ありがたいと思います。

最後にもう1点。ライトレールと環状線の方に入ってきます。今は南口の正面玄関に向かう道路の交差点は、1回渡って、新幹線の中央改札口へは、また路面電車を渡らなければいけない。そこは非常に複雑で、屋根もないのですが、雨や雪のときには足元が滑りやすく危ないと、お年寄りが嫌がっています。これを何とか、あいの風とやま鉄道の高架が上がった段階で、駅前の交差点からの誘導を中央改札口、あるいは駅へ持ってくる。西部エリアの方は、路面電車を渡らないのでいいのですが、メインの方に来るときには渡らなければいけないので、足元を確保しなければいけない。そして、路面電車の動線が駅前でカーブしているのですが、そのカーブしているところを渡らなければいけないという非常に複雑なところがありますので、これも何とか一緒に検討していただいて、駅のみなら

ず、駅周辺を利用する方々の安全を守っていただけるような仕組みを考えていただければと思っております。

(委員) 実際工事に関わってまいりました者として、何点か。

まず、サインですが、新幹線の改札から出て直ぐの所は、サインを付けたい人がたくさんおられます。この場所は希望者が多すぎて、全部表示ができなくなるぐらいです。要は、「自分のところのサインを入れてくれ」と殺到されるわけです。それを富山市の方で交通整理して、本当に必要なものだけを選んであの大きさの字となります。ですから、もっと大きな字にするとすれば、サインで示す項目を相当減らさなければいけないということが現実問題として発生してきます。

その辺は、量を選ぶか見やすさを選ぶかという問題があり、非常に悩ましくて、現在は暫定という思いで作っています。とにかく、自由通路が北側へ抜ければ不要なサインがかなり減りますので、そこでもう一度整理してサインを付け直す必要があると考えています。そのときにどこに行くサインが幾つ必要なのかを見直す。そうすることによって表示する数も決まりますので、できるだけ見やすく大きな字を使えるようになるのではないかと考えています。

ただ、現在は、駅全体が未完成ですので、表現は悪いですが、将来不要となるサインも必要です。例えば北口へ行くのであれば地下道を通らなければいけないといったような、本来完成すれば要らないようなサインも付けなければいけない現状があるので、大変苦勞した上で設置したサインということで、ご理解賜れば大変ありがたいと思います。

あと、東西自由通路の軌道との交差点については、踏切というお話がありますが、私個人としては、そこに踏切は絶対造りたくないと思っています。駅前広場にあるような信号と横断歩道。正確に言うと、横断歩道ではなく、横断指導線という形態で県警と協議の上設置しているのですが、それと同じような形態で造りたいと考えております。ただ、国の認可を頂く関係上、踏切の遮断機を入れなければ許可しないとと言われると、我々としては不本意ながら受け入れなければいけないことがあります。現在、工事施工認可を頂いておりませんので、まだ決まっておりませんが、遮断機は入れたくないということは考えております。

それと遮断時間ですが、基本的には日中、ライトレールは15分間隔でしか動いておりません。要は、どんなに行き来しても、そこは15分ごとに1往復しか通りませんので、平均すると7分30秒に1台となりますが、実際には同時に上りと下りがクロスして横断して行きますので、大体15分に1回しか遮断時間はありません。遮断時間も、おおむね30秒以下だと思います。ですから、さほど邪魔にはならないのではないかと考えております。ただ、朝のラッシュ時間帯については10分間隔で運行していますので、本数もかなり多くなります。地鉄さんと協議している中においては、朝は、地鉄さんも頻繁に電車が来ていますので、それをライトレールで相互乗り入れすると大変複雑なダイヤになります。これについてどうするかは、まだ全然決まっていません。ですが、遮断時間については、日中と同様さほど致命的なものにはならないのではないかと考えています。

(委員) 利用者として意見を述べさせていただきます。私は、毎週東京と富山を行った

り来たりしているの、新幹線および富山駅は非常に利用させていただいています。南北自由通路が出来上がると、すごく素晴らしい目抜き通りになると思いますが、この図だけ見ると、店舗はほとんどないような状態になります。降りたら、何も店舗はないのかなという感じになると思うので、そこの「何もない」という印象は、すごく困るなと思っています。上野駅には Pepper がいて、Pepper の目がパンダの目になっていて、しかも困った顔をしているというので、SNS、インターネットで大変話題になりました。店舗が置けないのであれば、写真を撮ったり、思わず SNS でつぶやいたりする話題になるようなもの、少ししゃれ気の利いたものを例えば何カ月に 1 回かリニューアルしながらやっていって、毎回観光客の人がそこを訪れるのを楽しみにされる、というのはよいのではないかと思います。

東部エリアに飲食店を置くのは、私も大変楽しみなのですが、かなり奥まっているので、そこまで行く理由が必要かなと思います。私は富山経済新聞というネットニュースもやらせていただいているのですが、今年の年間ランキングの 1 位が「イミズスタン」です。射水市小杉の辺りにパキスタンの方々がたくさんいらっしゃって、そこでカレー屋さんやパキスタン料理がたくさんあって、それがものすごくおいしいということで、全国から食べに来られて、その名称を「イミズスタン」と言われるということです。

あと、2 位にあったのが、東京とか大阪の方々が富山の食材を使って料理をしたいということで、I ターン、もしくは U ターンという形で、全国や海外へ出店されたシェフが戻ってこられて、今年だけで 4 店舗ぐらい新しく富山に造られたこともあります。せっかく U ターン、I ターンが県の大変大きな施策だと思いますので、U ターン、I ターンで店舗を開くときには、富山の駅ナカでも店舗を構えることができますよという形で誘発することもあるのかなと。それがまた飲食店に来たくなる魅力になるのかなと思いました。

<石井知事、所用により途中退席のため、一旦、意見集約のコメント>

(石井知事) この後、座長が意見集約をなさるのかもしれませんが、今日お話を聞いていますと、西部エリアと東部エリアは、ある程度距離もあるし、少し分けて考えざるを得ないのかなというご意見が多かったように思います。その中でも、西部エリアの方は、県民向けの日常的に必要な度の高いものを中心にやっていく。その中に、日吉副社長がおっしゃった本屋、カフェみたいなものも入るかどうかは、今後の詰めになるかと思います。

それから、東部エリアの方は、少し奥まっているけれども、大方の方は飲食のスペースが足りないの、そういうものを中心なもの 1 つとして置いてはどうかというご意見は、すごく多かったと思います。その際に、特に東部エリアは奥まっているので、多くの方がそこに行く気になるのにどうしたらいいかという話がある。その前に、駅全体のサインの問題で、もう少し分かりやすくという話何人かの方から出ました。また、富山市さんからも、今は暫定的なので、いずれ北側に抜けた場合に再整理して、もう少し分かりやすくしたいというお話もあったので、これは良かったと思います。

東西自由通路のところは、今、委員からもご提案がありましたし、先ほども立山連峰についてご提案がありました。また、出たところで、ロボットなど面白いものがあつた方がいいという話もありました。こういった点は、なかなか面白いと思いますので、これから実務的にも進めていただければありがたいと思います。

それから、東部エリアに富山県らしい、おわら風の盆が一例として出ましたが、全体として 1,430m² をどのように活用するかというのは、今までの話も含めて、よく整理していただければと思います。

それから、ライトレールは往復 15 分に 1 回、朝の時間帯でも 10 分間隔で、それほど遮断時間が多くないのではないかというお話がありました。そういうことになると、だいぶイメージが違うかなと思いますが、こうした点も、地鉄さんの問題もありますから、これから実務的に詰めていただけたらいいかなと思います。

昨日も東京で富山ゆかりの企業人の皆さんと富山のこれからの観光、さらなるイメージアップ、あるいは富山への移住をもっと進めるなど、いろいろな全般的なお話をした中で、富山駅についてのお話も随分出ました。どうしても県の顔になるところですから、この辺はよく議論が出ます。駅前広場は富山市さんが、連続立体交差事業は富山県がやっていますが、駅の高架下は、あいの風鉄道さんが直接やることとなりますので、ぜひ連携しながら、なるべくいい形にしたいと思っております。

今日は、大変貴重なご意見ありがとうございました。また、皆さんの中から、トイレの問題やエレベーター、ご高齢の方への配慮など、なるほどと思われる大変良いお話をたくさん頂いて、大変勉強になったと思います。

今回は、3 月か 4 月ごろということですので、それまでにもう少し論点を整理して、どういう方法かというのを座長と相談しながら整理しまして、なるべくいい形で次の各論につながるように持っていきたいと思っておりますので、どうかひとつ、よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

(委員) この 3 つのエリアを何とかリンクできないかなと思っておりますが、ちょっと難しいと思います。今、知事もおっしゃいましたが、西部エリアは、どちらかという駐車場に近いので、県内の皆さん向けの方がいいのではないかと率直に思います。県外の観光客が富山に来るのは、観光と食が目的ですよね。できるものなら、この東部エリアに食のゾーンをきちんと造った方がいいのではないかという感じがします。

東西自由通路エリアですが、幅が 4m ですから、何をやるにしても、なかなか難しいというのが率直なところです。人間は前を向いて歩くので、両サイドの壁面等でいろいろな使い方ができるのではないかと思います。

それに加えてもう 1 つ、それぞれのエリアと今は言っていますが、これは後々、何かネーミングなり、あるいはキャッチコピー的なものが出てくるのではないかと思います。そういうときに、親しみやすい、愛称になるような感じのゾーニングにしていったらどうかと思います。特に私は男ですので、あちこちへ行きますと、1 時間とか 1 時間半の時間のつぶし方は大変なのです。そのときに、軽くお酒を飲めるようなゾーニングがあれば助かると思います。

(委員) 今、お話のありましたとおり、西部エリア、東西自由通路エリア、東部エリアは、一体性を持たせるのは難しいと思います。売場面積からいっても、規模的には小さいところもありますので、その辺も難しいと思います。東西自由通路エリアは幅が狭いので、屋台のような感じで、例えば朝早くからおにぎりが食べられるような、小さな庶民的な感

じのものをつくれば面白いのではないかと。ここで誘導を図る。東部エリアに関しては、観光客はもちろんですが、富山県の人も買う、魅力のあるもの、両方兼ね備えたものを置いた方がいいのではないかと。特に魚、富山の野菜など。東京あたりからの観光客の方は、「富山は、大根が安いから買っていこうか」と買っていかれます。魚でも、「おいしいから、うちの晩飯に、刺身の昆布締めを買っていこうか」と。だから、富山の生活に密着したものは富山県の強みですから、そういったものを置いていけばいいと思います。逆に言えば、きれいな店は要らない。本当に庶民的なもの、もっとおなじみになるものを考えながらやっていただきたいと思います。

(委員) 気付いた点がもう1つです。今日の論点から離れて、むしろ前回の論点なので、甚だ恐縮なのですが、ご紹介します。うちの学生に、新宿駅に来ている訪日外国人の個人客にインタビューさせて、日本の旅行で嫌なところをたくさん挙げてもらいました。ちなみに、1番嫌なのは、英語が通じないことだと言っていました。1つは、旅行するときに荷物を扱うのが面倒だということでした。それは新幹線の中でも、トランクを置くスペースが少ない。もう1つは、駅に着いて、コインロッカーがなかなか分からない。それからサイズが小さいので、もう少し大きいものがたくさん欲しいというのがありました。今日視察のときにあちこち見てみたら、確かに2カ所ぐらいコインロッカーはあるのです。先ほどのサインの話ですが、コインロッカーと書いてあるサインは確かにありました。だけど、あまり目立たない。むしろ、片仮名よりもアルファベットを大きくした方がいいのではないかと思います。それから、改札から降りたところでは、荷物を置けるところが分かりませんでした。視察の時に聞いてみたら、とやマルシェの宅配便の方が1日預かってくれるそうです。そんなことも私は初めて知り、ありがたい話だと思いましたが、そのことがPRされていない。そんなこともあって、もし東部エリアに飲食のコーナーができるのであれば、有人の荷物預かり。英語の案内もしっかり出す。それが外国人に評価されるのではないかと思います。

(座長) それでは、この辺で終わりたいと思いますが、全体として、それぞれのエリアに特色があるし、西部エリアは、もう少し地元向け、東部エリアは、とやマルシェとうまく連携したものが必要なのではないかとという意見は共通していたかと思えます。東西自由通路エリアは、いろいろなアイデアがありましたが、一番目に付くところですし、東西自由通路そのものをうまく活性化することにつながるようなアイデアを出していく必要があるような気がします。

普通の駅は、降りると通路以外は大体のところは全部建物の中になってしまうのです。富山駅の大きな特色は、ライトレールがあって、なおかつ、東西自由通路のようなすごく大きな構造があるなど、都市的なものがこの中にあるのです。それはある意味、都市の大きな構造であるので、そこにきちんと顔を向け、そうした骨格がすごく光ってくると、駅の特徴が見えてくるのではないかと思います。それは、この3つの開発エリアだけではうまくいなくて、向かい側とのオペレーションをうまく工夫するとか、市の持っているところ、県がやろうとしているもの、あいの風の持っているところを全体としてコーディネートしていくような工夫が必要な気がします。今の議論はその3つの開発エリアで何をや

るかということですが、前提として、駅を面として捉えると、その先に面のところにいろいろなプレーヤーがいるので、うまくエリアマネジメントをやれるような仕組みづくりをして、みんな同じ方向に行けるようにすることがどうしても必要になってくると思いました。またあと1度か2度議論ができるということなので、収束に向けて、もう少し議論していきたいと思います。今日発言がなかった方も、事務局の方に言っていただければ対応できますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、今日の議事をこれにて終わりたいと思ひます。

今日の意見を基に次回以降の調整をお願ひしたいと思ひます。この後の進行は事務局にお返ししたいと思ひます。

○閉会

(司会) 座長、どうもありがとうございました。また委員の皆様方、アドバイザーの皆様方には、熱心にご議論いただきまして、ありがとうございます。次回の検討委員会につきましては、年度内の3月か、あるいは年度をまたいで4月ごろを予定しております。後日あらためてご案内させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、以上をもちまして、第2回あいの風とやま鉄道富山駅高架下開発検討委員会を終了させていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。